

川崎市アクセス認証型教育ネットワーク設計業務委託  
プロポーザル評価基準

## 1 基本的な考え方

有効な提案をした者のうち、川崎市アクセス認証型教育ネットワーク設計業務委託プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）の審議によって算定した、技術評価項目における得点である「技術評価点」と提案金額の評価における得点である「価格評価点」を合算した「総合評価点」の最も高い提案者を最適な事業者として特定する。

## 2 技術評価点及び価格評価点の算出方法

評価の項目、評価点の配分及び採点の基準は「川崎市アクセス認証型教育ネットワーク設計業務委託 プロポーザル評価項目・採点基準表」（以下、「評価項目・採点基準表」という。）のとおりとする。

また、技術評価点及び価格評価点の算出方法については、次のとおりとする。

### (1) 技術評価点

技術評価点は、「定性評価点」及び「数値評価点」に区分し、企画提案書の記載内容及び企画提案の内容に対する評価により算出する。評価項目・採点基準表の項番1から10については定性評価点を、項番11については数値評価点を算出する。

#### ア 定性評価点

定性評価点については、評価委員が評価項目・採点基準表の評価項目ごとに10点満点の絶対評価によって採点を行う。なお、項番2から4及び7、8、10については重点評価項目とし、項番2については素点を3倍に、項番3、4、7、8、10については素点を2倍にして各評価委員の評価点を算出する。

#### イ 数値評価点

各種認証の取得状況（評価項目・採点基準表の項番11）については、提案者から提出された認証の取得状況を証明する書類に基づいて、次のとおり評価する。

#### (ア) 個人情報保護及び情報セキュリティマネジメントシステムに関する認証

次のいずれかを取得している場合は、プロポーザル参加資格を付与する。

- a プライバシーマーク
- b ISO/IEC 27001の認証

#### (イ) 品質管理に関する認証

(ア)のいずれかに加えて、ISO 9001の認証を取得している場合は、加算点（10点）を付与する。ただし、参加資格がない場合は、加算点も付与しない。

### (2) 価格評価点

価格評価点は、提案者から提出された見積書に記載の金額（税抜き）に基づき、次の式により算出する。

$$\text{価格評価点} = \text{配点 (20点)} \times 2 \times (1 - (\text{提案金額} / \text{上限額} \times 1) \times 2)$$

※1 上限額：80,400,000円

- ※2 括弧内は小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで算出する。
- ※3 価格評価点は小数点以下第1位を四捨五入して整数で算出する。
- ※4 提案金額が上限額を上回った場合、失格とする。
- ※5 上限額の2分の1以下の金額による見積が提出された場合、見積の詳細を調査する。  
調査の結果、見積が妥当と認められれば配点通りの評価点（20点）を付与し、妥当と認められなければ失格とする。

### 3 提案者の特定方法

提案者は、次の方法で特定する。

- (1) 次に掲げる要件の全てに該当する提案者のうち、2に定める評価方法により算出された技術評価点と価格評価点を合算した総合評価点が最も高い者を最適な事業者として特定する。
  - ア 見積書に記載された金額が、上限額以下であること。
  - イ 仕様書に記載する要件を全て満たす提案であること。
  - ウ 定性評価点の総合計が満点の60%以上の点数であること。
  - エ 定性評価項目において、全評価委員の過半数が評価点0とした項目がないこと。
- (2) 総合評価点の最も高い者が2以上あるときは、次の基準により特定する。
  - ア 技術評価点が最も高い者
  - イ アによって決定できない場合、定性評価点が最も高い者
  - ウ イによって決定できない場合、重点評価項目の評価点の合計が最も高い者
  - エ ウによって決定できない場合、再度評価委員会に諮り、本件契約について最適な事業者を特定する。

### 4 受注者の決定

発注者は、評価委員会の審査結果を踏まえて受注者を決定し、その結果を各提案者に通知する。

川崎市アクセス認証型教育ネットワーク設計業務委託 プロポーザル評価項目・採点基準表

項番	分類		項目	配点	評価の観点・採点基準
1	技術 評価 項目	定性 評価	会社概要・実績	10点	【企業の信頼性】 (1) 企業として業務を確実に実施できる体制を有しているか。 (2) 類似の設計・構築・運営の実績を有しているか。
2			構築イメージ 【重点評価項目：×3】	10点 × 3	【基本となる知識を生かした論理的な提案になっているか】 (1) 文部科学省の提唱するネットワーク環境への知識は十分か。 (2) 想定される構築環境について、分かりやすく論理的であるか。
3			提案理由 【重点評価項目：×2】	10点 × 2	【多様な角度からの検討と正しい選択】 (1) 提案する製品やソリューションについてのメリットを説明できるか。 (2) 提案する製品やソリューションについての他に比べて優位性があるか。
4			リスク対策 【重点評価項目：×2】	10点 × 2	【リスクの想定と有効な対策】 (1) 想定されるリスクケースについて、十分に検討されており、重要なリスクの漏れがなく、専門的な見地があるか。 (2) 対策について、必要十分であり、有効な対策になっているか。
5			移行対策	10点	【円滑で効率的な移行】 提案する移行対策について、想定される課題が正しく列挙され、課題解決の方法が適切であるか。
6			研修計画	10点	【効率的・効果的な研修】 効率的・効果的な研修計画になっているか。
7			運用保守計画 【重点評価項目：×2】	10点 × 2	【運用保守の検討リスクへの対応】 想定される課題が、十分に想定されており、正常かつ円滑に運用保守を行う計画になっているか。
8			業務内容 【重点評価項目：×2】	10点 × 2	【業務へのアプローチ】 設計を行うにあたり、具体的な手法や技術的アプローチ、手順が適切に考慮されているか。
9			受託作業体制等	10点	【体制、予定の信頼性】 業務を行う作業人員、保有資格、経験などが十分であるか。 スケジュールが適正であるか。
10			自由提案 【重点評価項目：×2】	10点 × 2	提案に具体性や積極性はあるか。 本業務の資質向上に資する提案であるか。
11	技術 評価 項目	数値 評価	情報セキュリティ及び品質管理に関する認証等 【事前採点】	10点	認証の取得状況（10点）
12	価格評価項目		委託経費 【事前採点】	20点	委託経費の総額（税抜き）
計				200点	技術評価点180点（定性評価点170点、数値評価点10点） 価格評価点20点